

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

以下、本文-----

新規放射線治療計画技術を用いた肺癌の放射線治療計画に関する研究

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院で2025年4月1日～2025年9月30日までに切除不能局所進行肺癌に対する肺機能画像を用いた強度変調放射線治療を行った患者さん

2. 研究目的・方法

1) 研究目的

近年は放射線治療の高精度化が進んでおり、強度変調放射線治療(intensity-modulated radiation therapy; IMRT)により肺など正常臓器への線量低減が可能となっています。現在、IMRTで治療計画を行う際に、放射線治療装置が回転する角度などを治療計画者が手動で設定する必要があります。

Eclipse RapidArc Dynamic (RAD)はVarian社で新たに開発された新規放射線治療計画技術で、標的の形状や正常臓器の位置を考慮して自動で最適な回転角度の決定が可能であり、肺への線量低減や治療計画時間の削減が予想されます。

この新規技術のシミュレーションを実施することで、肺の照射線量を本当に低減できるかどうかを検証し、その結果を日々の診療に還元することで、医療の質の向上に役立てることを目的とします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2030年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2025年11月1日

2) 研究方法

研究開始後に対象となる患者さんの下記「3. 研究に用いる試料・情報の種類」のような個人情報を含まない情報データを、放射線治療が終了した後に分析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

放射線治療計画装置から得られる情報

- ① 放射線の照射方法等
- ② 総線量、照射回数等
- ③ 標的や正常臓器の体積や線量等

カルテから得られる情報

- ① 年齢、性別、基礎疾患、病期等
- ② 血液検査、呼吸機能、心機能等
- ③ 薬物療法、手術療法等の併用療法の有無
- ④ 生存、再発、有害事象等

* 個人を特定可能な情報は解析に用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：南国市岡豊町小蓮 1 8 5-1

電話：0 8 8-8 6 6-5 8 1 5

担当者の所属・氏名：放射線腫瘍学講座 植田 太郎、木村 智樹

研究責任者：高知大学医学部附属病院 放射線腫瘍学講座 木村 智樹

-----以上